

思いやりのある生徒

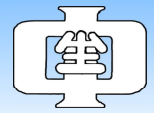
確かな学力をもつ生徒

心身ともにたくましい生徒



# とうだい

平戸市立



生月中学校

## 自信と誇りもて歩め

### 心を見つめる教育週間



本日22日から一週間、心を見つめる教育週間を実施します。今朝は、全校集会の後、安全指導員の坂本様を招いて、メディアについて考える時間を設けました。自分をコントロールする力を身につけることは、人生を豊かにすることにもつながることを学びました。午後は、救命救急法の講習会を1・2年生が受講しました。水の事故が増える時期、万が一の時には、適切な行動がとれるよう、真剣に取り組んでいました。以下、全校集会講話を抄録します。

「わたしたちは、互いに影響を与えています。そこで、一人の生身の人間の影響が届く範囲について考えてみることにします。」

例えば、体温。50センチから1メートルくらい離れてもその人が出す熱を感じる時があります。声はどうでしょうか。会話ということを考えると意味が正確に伝わる距離は、大抵でも30メートルくらいが限界ではないでしょうか。表情はどうでしょうか。同じく30メートルぐらいたるぐらいたる霧が伝わるかもしれません。感情がしっかりと伝わるのは10メートル程度でしょう。調べてみると、当然ながら、人間は、会話が成立し表情が伝わる距離で社会生活を営んでいます。つまり、声の意味が分かる、相手の表情や反応が分かる距離が人間にとって自然なコミュニケーションの範囲という事になります。

SNSなどのネットは、自然なコミュニケーションを前提に考えなければならぬということを示していると思います。

人の体温や音声や表情は遠くなると届きませんが、人の心はどうでしょうか。もともと人の心は見えませんが、体温もありません。でも、いろいろなことを通して心は人に伝わり通ります。そして、例えば、人の思いやりは、遠く離れていても感じられて、時間が経っても、いつまでもその人の心を温かくしたり、励ましたりすることができず。反対に、いじわるな心は、人を悲しませたり、苦しめ続けたりします。人の心の使い方は難しいから、この心を見つめる教育週間は続いているのかもしれない。」

24日には、道徳の公開授業があります。また、期間中は、学校を開放していただきますので、いつでも都合の良いときにご来校いただき、生徒の姿を見ていただくと大変ありがたいです。

中総体陸上大会  
少年の主張大会  
応援ありがとうございました。

前号でお知らせしていたとおり、先の土曜日と日曜日に標記大会が実施されました。

陸上大会は風雨が強く、ベストコンディションとは言えませんが、懸命に走り投げ、競技場で躍動する姿を見せてくれました。どの選手もやり切った表情をしっかりと印象的でした。また、仲間の活躍に声援を送るのももちろん、他校の選手にも惜しみない拍手を送る姿には素晴らしいものがありました。あらた

めで、勇気をもって陸上競技に挑戦してください。心意気に敬意と感謝の言葉を送りたいと思います。なお、共通男子砲丸投げで東口さんが優勝、共通女子200mで川口さんが2位入賞を果たしました。おめでとう！

翌日は、霧囲気がガラッと変わって、少年の主張大会がありました。命や平和の大切さ、協調性と主体性といった中学生らしいテーマで各校代表者が発表しました。生月中の榊屋□□さんは、身近な出来事から深く大切なことを学んだという等身大の内容で、飾らない語り口ながら、堂々とした態度で素晴らしい主張を行っていました。会場に来ていた方からは、涙が出たという感想もいただきました。生月中学校生徒の力を感じた2日間でした。